第二次美祢市総合計画

総合戦略

第2回観光産業部会 (案)

令和元年7月8日現在 美祢市

重点 戦略 **1**

「働きたい!」希望を実現させる魅力産業の創出

戦略方針1

観光資源を活かした産業と雇用の創出

秋吉台や秋芳洞といった全国的にも知名度の高い観光地と世界にも通用するジオパークという資源を活かし、他にはないコンテンツづくりや情報発信に努めながら、リピーターとなる"美祢市ファン"や本市を選んで訪れる外国人観光客を増加させることで、観光産業や雇用の創出を目指します。

楽しみながら地域に経済の流れを生み出す着地型観光の実現など、マーケティング等の手法を用いながら観光を軸に地域経済を活性化し、地域の関係組織や団体、事業者等をまとめられるDMOの機能を構築することで、産業を活性化し、新たな雇用に繋げます。

具体的施策

1-1-1. DMOを核とする観光地域づくりの推進

内容	観光における経済の活性化を目指し、市全体の観光 <mark>関連団体</mark> の舵取り役として「(仮称)美祢市観光まちづくり組織(DMO)」を設置します。同時に <mark>着地</mark> 型観光の商品などの造成を連携して図り、観光を軸とした市内産業における経済の活性化を促します。		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	三洞入洞者数	499千人 (H30年度)	540千人
	DMO組織の設立	-	設立
	道の駅の商品販売額(単位:千円)	279,072	287,400

1-1-2. グローバル観光戦略の推進

内容	美祢市台北観光·交流事務所を軸とし、山口県などと連携しながら東アジア観光客の獲得に取り組みます。また、欧米の観光客の獲得に向け、受け入れ体制を整備します。 海外市場に向けた効果的な情報発信を強化しインバウンドの増加を図るとともに、市の特色を活かした体験型観光の造成やジオパーク活動、田舎体験などのプログラム化を図り、感動体験の波及効果を促進させ、更なる外国人観光客と観光消費額の増加を目指します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	外国人観光客数	34千人 (H30年度)	117千人
	外国語対応のガイドの数	○○(H○年度	000
	観光地キャッシュレス導入店舗数	○○(H○年度)	000

1-1-3. 観光施設等の受入環境の整備

内容	観光客のおもてなしなど、本市観光のイメージアップを図るため、老朽化した観光施設等の改修・更新を行い、サービス体制の強化と受入体制の改善を図ることで、観光客の増加と滞在時間の拡大につなげ、地域経済効果の循環と波及効果を増幅させます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	観光施設改修数(H27年度以降)	○○(H○年度)	
	秋吉台科学博物館建設計画の策定	_	
	みねシュラン3★認定者数	12人(H30年度)	27人

戦略方針2

食に深く関わる農林水産資源の高付加価値化

本市の農業ブランドを牽引する厚保くり・秋芳梨・美東ごぼう等の<mark>産業振興や新たな農産品開発</mark>により、 農業等の活性化と担い手の確保を図るため、全国に通用するブランドに育てる取り組みを強めます。

また、観光産業の競争力強化と新たな雇用の発掘のため、農業と連携した食の開発を進めることで、生産の拡大、地域力の育成と経済の好循環につなげます。

そのため、加工品など地域ブランドの充実に向け、特産品開発の掘り起こしを進めるとともに、ブランド基準の強化を図り、品質、イメージと商品力を向上させ、効果的なPRや販路の拡大を進めます。また、生産・加工・販売まで一貫した体制の確立を促進します。

具体的施策

1-2-1. 全国ブランドの育成と六次産業化の推進

内容	秋吉台やジオパーク活動などを活用した本市産品のブランド戦略を推し進め、農林水産物の高い品質基準やマーケティングによるブランド戦略、六次産業化や食の開発による地域ブランドの開発を図るとともに、道の駅等やメディアなどを活用した流通を促進します。また、山口県等との連携強化や都市圏との関係構築によって地産外商・地産都消などの販売促進の手法を充実させ、販売額の増加につなげます。		
	項目	現状値	目標値
	産品購入意欲度(ポイント)	20.2	
KPI	食品想起率(ポイント)	0.7	
	新たな食・土産品開発数	_	
	ミネコレクション販売額(単位:千円)	1,170,180 (H29)	1,305,780

1-2-2. 農林水産業の振興と担い手の育成

内容	市の農林水産業の特長を活かした産業力強化と展開を図るため、豊かな土づくりや品質向上、新たな開発などを通して農林産物の高付加価値化を図り、儲かる農業へ向けた体制づくりを行います。また、都会への流通を強化し、生産拡大を目指すことで、新規就農者の増加や営農法人の経営の多角化など農林水産業を継続できる基盤を確保します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	農林水産品の高付加価値認定商品数	1品(H29)	
	集落営農法人数	24(H30)	27
	株式会社化した集落営農法人数	1 (H30)	3
	厚保くり、秋芳梨、美東ごぼう生産面積(単位:ha)	○○(H○年度)	
	認定新規就農者数(青年等就農計画H24~累計)	10(H30)	13

戦略方針3 サービス業、商工業の多様な雇用の場づくり

美祢社会復帰促進センターと市内企業との連携を促進するため、意識醸成などを強化し、センター生等の就労機会の創出や雇用につながる具体的な取組につなげます。

また、企業誘致や市内企業への就労促進など、事業拡大や新規の事業展開などを促進し、多様な雇用の場づくりを進めます。

具体的施策

1-3-1. 共生がつなぐ仕事づくり

内容	美祢社会復帰促進センターのセンター生の社会復帰への支援及び総合支援学校生の就労 支援などを行い、新たな <mark>就労の取組</mark> と雇用の創出に向けた活動を強化します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	美祢社会復帰促進センターでの作業·職業訓練に関わる 市内企業の数	7(H29)	10
	センターからの外部通勤作業に係る受入事業者数	1 (H30)	2

1-3-2. 地元企業の活性化・人材育成への支援

内容	高校生・大学生・求職者に地元企業の魅力を伝え、高校生等の地元への就業促進につなげるとともに、雇用安定化への支援を継続して行います。また、情報発信や企業連携などを強化し、新たな事業連携やビジネスチャンスの機会を創出します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	市内企業のキャリアガイダンス開催回数	1回(H30年度)	
	市内の高校の新卒者の美祢市内就職率	調査中(H〇年度)	
	県央連携等主催セミナー、ジョブフェア出店等参加企業数	調査中H〇年度)	

1-3-3. 事業所誘致の推進

内容	十文字原総合開発事業用地の有効活用を目指すとともに、IT企業・サテライトオフィスについても、市内のインフラの整備状況を確認しながら企業誘致を進めます。		
	項目	現状値	目標値
	IT企業、サテライトオフィッス等誘致・進出企業数	-	1社
KPI	工業団地(十文字含む)誘致・進出企業数	協定締結数 1社(H28) 1社(H29)	〇社 (5年累計)

戦略方針4 起業・イノベーションの創出

地域に根ざした産業振興を目指すため、既存の産業の活性化や地域のサービス生産性の向上を図るとともに、起業家の育成や起業に向けた支援を行い、雇用機会の創出につなげます。

大学や研究機関、企業等の研究資源や人材を活用するため、関係機関等の連携促進を図り、地域の発展に寄与するシステムを構築します。

近年では、ICTやネット環境の発達に伴うシェアオフィスやコワーキングスペース等を活用した新たな働き方が広がってきており、積極的な起業を促進できるよう、ICT環境を基盤とした働く場や働くスタイルへの支援を行います。

具体的施策

1-4-1. 起業等支援の推進

内容	行政·商工会·市内金融機関により構成された美祢市創業支援協議会の機能を強化し、起業 や事業承継の促進を図ります。		
KPI	項目	現状値(年度)	目標値(年度)
	起業支援数	10件(H30)	12件(R6)
	事業承継支援数	_	1件(R6)

1-4-2. イノベーション、シェアリングエコノミーによる地域産業の活性化

内容	大学、研究機関、企業等の連携を促進するため、研究成果や民間企業のニーズのマッチング・連携の支援を行い、市内企業等のグローバル化、ベンチャーキャピタル等を進めるなど、新たな事業開発に向けた支援を行います。		
KPI	項目	現状値(年度)	目標値(年度)
	遊休資産活用支援事業者数		
	美祢あきない活性化応援事業支援数	5件(H30)	6件(R6)

1-4-4. ICT等の活用による地域産業の活性化

内容	情報通信技術(ICT)を有効に活用し、地域のサービス水準の維持・向上や柔軟な就労環境の整備を進めます。また、生活に身近な分野でのIoT、AIの活用を推進し、テレワークの推進や流通、経済活動の活性化、ビッグデータ処理技術の導入を進めます。 市内商工業者に対しても、キャッシュレス化の導入を推進するとともに、インバウンドに対応できるよう支援を行います。		
	項目	現状値	目標値
KPI	テレワーカーの人数	調査中	
	キャッシュレス決済導入店舗割合	調査中	

重点 2

「結婚・産み育てたい!」願いが叶う環境の充実

戦略方針2 子育てサポートの充実

ライフスタイルの多様化や国の働き方改革などにより、出産や子育てへの考え方にも変化が起こっています。働きながら子育てをする家庭の負担軽減など、求められる支援の充実と活用しやすい制度の構築を行います。

また、子ども達が安全で安心していきいき育つ環境づくりのために、行政だけでなく市民、関係団体、事業者などと連携した、地域が一体となった子育て環境と体制を構築します。

2-2-3. ワーク・ライフ・バランスの推進

内容	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現のため、市内の事業所等における雇用・配置・育成等あらゆる側面において理解を促進し、労働者が多様な働き方で活躍できる社会をつくります。		
	項目	現状値	目標値
KPI	ワーク・ライフ・バランス推進セミナー参加者数	-	
	ワーク・ライフ・バランス推進認定事業所数	_	

重点 3 戦略

「訪れたい、参加したい、住んでみたい!」MINEの発信と交流の強化

戦略 方針 1 交流人口の拡大

本市に訪れ、関心のある人を増やすため、取組の充実や都会でのPR宣伝など本市の発信力を強化し、交流と関係人口づくりを実施します。また、一方で定住促進対策と合わせた市の環境整備を進めます。

本市の魅力のプロモーション展開の強化を図るため、イベント・交流事業の充実、ジオパーク活動、農林水産物、地域ブランドのPRなど、多様なジャンルの素材の魅力化を図り、市のブランド力を高めます。

また、一方で都会からの移住者や外国人を受け入れる市民の意識づくりが必要なことから、地域をあげた受け皿づくりを促進し、定住の地として選ばれる魅力の向上と発信力の強化を進めます。

具体的施策

3-1-1. PR・プロモーションの推進

内容	全国・世界から選ばれるまちを創造するため、本市の持つ地域資源を活用し、人々を魅了するプロモーション活動と情報発信により、交流人口と定住人口の増加を目指します。特に、観光客や地方への移住希望者等が求めるニーズを把握し、的確な宣伝を新たな視点・手法により情報発信を強化します。		
	項目	現状値	目標値
KPI	市公式フェイスブックフォロワー数:(人)	2,504(H30)	2,700
	観光協会ホームページアクセス数		
	美祢市への情報接触度	826位(H30)	750位
	美祢市の魅力度	774位(H30)	700位
	美祢市への観光意欲度	704位(H30)	650位

3-1-2. スポーツ・イベント等の拡大

内容	秋吉台を中心としたサイクルスポーツやマラソンなど、スポーツや運動等を通じたイベントの魅力度の強化を図り、交流人口の拡大を図ります。また、市民に根付き、市の誇りとなるイベントの定着化とその魅力度をアップさせ、交流人口の拡大を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	秋吉台カルストTRAILRUN参加者数		
	秋吉台カルストウォーク参加者数		

3-1-3. 国際交流の推進

内容	友好都市との交流や市内での小・中学生・高校生や大学と連携した交流事業を進めます。また、田舎体験交流など需要の高まりを活かし、地域自然資源を活用した交流拡大のため受入環境の整備を地域と共に促進します。 本市の魅力を世界に伝える国際交流を活発化させるとともに、市民意識の醸成を図るため、多文化共生などの事業展開を行います。		
KPI	項目	現状値	目標値
	市内中学・高校生の海外研修参加者数(受入含む)		
	遠隔授業による国際交流実施校数(再掲)		
	多文化共生事業参加者数	<u>–</u>	

戦略方針2 関係人口のネットワーク構築と支援の拡大

本市の将来的な関係人口の拡大を図るため、関係する多様な人とのつながりを整理し、今後の市の発展や施策を応援・支援する人、団体などとの関係の構築化を進めます。

また、秋吉台を中心としたツーリズムの強化や地域・都市間交流の促進などを通じて、本市に好印象を持ち活動等を共に行う関係人口のネットワークづくりを行い、新たな応援人材の確保に繋げます。

具体的施策

3-2-1. ふるさとがつなぐ関係づくり

内容	出身者、勤務地の関係を軸とした関係づくり、スキル・知見を有した人材の活用、副業・兼業制度の活用による関係人口づくりを行います。 また、ふるさと納税を通じた関係づくりや第二のふるさとづくりなど本市を応援する体制を構築します。		
KPI	項目	現状値 (H30)	目標値
	ふるさと納税寄付件数	2,928	3,666
	副業制度活用人材数(累計)	_	

3-2-2. 都会と地域をつなぐ関係づくり

内容	都市圏住民や子ども・若者を通じた田舎体験、農林業体験やツーリズムなどを通じて、都市圏などと本市の地域間交流を促進します。また、ブランド産品などによる都市圏などへの外商により、リピーターと美祢市ファンの獲得を図ります。 また、着地型観光や体験型研修旅行の受け入れなど、地域などの受入環境の整備を促進します。		
	項目	現状値	目標値
KPI	「美祢旅」参加者人数	370人(H30)	500人
	ジオツアー参加者数	1,007人(H29)	1,800人